

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2071200162		
法人名	北アルプス広域連合		
事業所名	グループホームひだまりの家		
所在地	長野県大町市大町8035番地		
自己評価作成日	令和 5年 12月 8日	評価結果市町村受理日	令和 6年 2月 22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;ligvsoyoCd=2071200162-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;ligvsoyoCd=2071200162-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 6年 1月 12日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

コロナで途絶えていた地域のボランティア団体との交流の復活や外部講師を入れての陶芸教室や外出などコロナ禍以前の生活の取り戻しに力を入れてきた。  
また、年間目標において利用者が考えて行動できる「場」の提供ということで小さなことでも意思表示ができ自己決定できることを大事にしてきた。  
なお、快適な空間は利用者のQOLを向上させると考え、音・におい・温度など快適に過ごせる環境を提供できるようにしている。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

北アルプスの山々を望み、周りを緑豊かな自然や閑静な住宅街に囲まれた所に隣接する養護老人ホームと共に当ホームがある。開設から22年目を迎え「いつも心にひだまりを」の理念を支援の柱として、ホームでの生活が快適に送れるように工夫を重ね、利用者に優しく寄り添い日々の支援に当たっている。コロナ禍の状況が長引き、制約を受けながらの活動が続いてきたが、昨年5月の新型コロナ5類への移行を受け、できる所からコロナ前の生活に戻すように活動している。中でも地区の福祉ネットワーク「こだま会」との交流が再開され、昨年11月3日には「大町陶芸の家」の先生の指導もいただいて陶芸教室を開き、クリスマスツリー等の作品を製作して楽しいひと時を過ごしている。また、外出についても日々の近隣の散歩と合わせ、春の花見から秋の紅葉見物まで、ドライブを兼ね外出して季節感を味わっている。更に、コロナ蔓延中は制約を受け短時間に限って屋外で行っていた年2回の家族会も昨年4月以降室内での開催に戻し、4月には「年間行事計画の発案」「ひだまり通信の内容説明」「意見交換」等を行った。合わせて利用者と共に食事を摂り、楽しい歓談のひと時を過ごしている。そうした中、令和6年度には、10月に運営推進会議と合同で家族会の開催を予定し、また、久しぶりに「温泉保養」と「食事会」を予定している。加えて、新しい取り組みとして、利用者を出身地区別に、「白馬、小谷方面」「松川方面」「大町地区」とグループ分けして、その地区の見覚えのある所を中心に季節の花に合わせドライブ外出に出掛ける予定をしている。ホールのソファに腰掛けてテレビを見ながら会話を楽しんでいる利用者の姿を見ることができ、一つの家族としての温もりが感じられた。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通い場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		